

学校運営協議会 議事録

校名	府立 守口支援 学校
校長名	青木 康子

開催日時	令和 5 年 11 月 17 日 (金) 15 : 30 ~ 17 : 00
開催場所	府立守口支援学校 2階 図書室
出席者(委員)	長谷川 陽一会長(桃山学院教育大学教授)、佐々木 幸子副会長(守口市教育センター長)、森口 久子委員(学校医)(欠席)、盛田 昭一委員(錦コミュニティ協議会会長)(欠席)、東 恵美委員(門間公共職業安定所等買う職業指導官)、藏満 翔子委員(PTA会長)
出席者(学校)	青木校長、古賀教頭、田鶴谷教頭、小枝事務長、下田首席、西川首席、永山首席、坂上高等部主事、南中学部主事、和田小学部主事、堀川健康安全部長、築山進路指導部長、安藤支援自立活動部長、室田研究推進部長、寺村養護教諭
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 学校経営計画(進捗状況) ・各分掌年間活動計画(進捗状況) ・令和5年度学校教育自己診断票(保護者用、教職員用)
備考	

<p>議題等(次第順)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、学校長挨拶 2、学校運営協議会会長挨拶 3、今年度の学校経営計画の進捗状況について 4、各学部等からの教育活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行等報告 ・各公開授業、出前授業について ・進路指導部活動報告 ・メンタルヘルス研修報告 ・出欠確認ICT化について 5、学校教育自己診断について 6、次回の学校運営協議会予定について
<p>協議内容・承認事項等(意見の概要)</p> <p>3、校長より説明。 進捗についてほぼすべての項目が現段階で概ね計画通りに進んでいる。年度末にかけて引き続き進める中で躓きへの改善にも取り組んでいく。今年度はどこがリードして進めていくのか計画段階で全体に周知し、各自の役割と責任を確認した。教員が学部を超えて親密にすることでともに創造できる環境を作ろうとしている。学部を超えて連携協力することでチームのパワーアップにつなげていきたい。事前に質問を頂戴し、ありがとうございました。回答については担当者からの報告の後にさせていただきます。</p> <p>○質疑応答(事前集約を基に) ・全教科会議の様子をもう少し詳しく教えてください。 ⇒【教務主任 下田より】 全校教科会議は、学部間の情報共有や意見交換の場として昨年度立ち上げた。今年度も、目的は同じとしているが、テーマを「子どもにつけたい力の検討」とし、実施している。 まず、学部ごとにつけたい力を検討し、それを基に教科専科者で検討を行った。小学部に関しては専科がないため学年ごとに教科を割り振りした。さらに、体育館に集まり意見交換も実施した。専科外の人も資料を見て、専科の観点を知れるように、また全校での交流の場を作っていければと思い実施した。</p> <p>・守口門真支援教育Labの成果等について、具体的に教えてください。 ⇒【支援自立活動部長 安藤より】 夏休み中に実施。32名が参加。色々な先生が集り、活発な意見交換ができた。 課題としては環境整備が大事だと気付けた。 応用行動分析の研修会では本校の教員も参加可能とし、本校の職員も専門性を高めることができた。 アンケートも好意的で今後も本校の支援学校としてのセンター的機能を生かしたい。</p>

・メール等を活用したシステム試験期間などの状況を教えてください。

⇒【総務情報部長 西川より】

欠席連絡アプリの導入を実施した。出欠確認をICT化することで教員の勤務時間外の業務軽減につなげたい。保護者にはアプリの登録をしてもらい、試験運用をしている。また、保護者説明会も2回実施済み。運用していく中で保護者の声を受けての変更点もあった。今後もすぐに対応できる体制を残しておく。現在、88%の保護者が登録完了。100%をめざしていく。

5、学校教育自己診断について

今年度行う学校教育自己診断について令和4年度からの変更点を含め説明を行った。

次回の会議日程

日時	令和 6 年 2 月 20 日 (火) 15 : 15 ~
会場	府立守口支援学校 2階 図書室